

【令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果】

中学校3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の札幌市の概要が新聞等で発表になっています。本校での各教科の概要と課題、改善の方向と学習等の結果を以下に提示いたします。ご家庭での指導等にご活用ください。

なお、本調査で測定できるのは、学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることも同時に伝えてまいります。

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国語	<p>【知識及び技能】</p> <p>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>□「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率 ・全国平均に比べ、やや上回っている。</p> <p>□「我が国の言語文化に関する事項」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>●表現の技法について理解すること。</p> <p>●意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>●行書の特徴を理解すること。</p>	<p>○具体的な表現と結び付けながら表現の技法について理解を深める指導の充実。</p> <p>○情報と情報との関係を捉えることができるような指導の充実。</p> <p>○楷書で書いた漢字と比較するなど、これまでの学習を踏まえての指導の充実。</p>
	<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>□「話すこと・聞くこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、やや下回っている。</p> <p>□「書くこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>□「読むこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>●話題や展開を捉えながら他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること。</p> <p>●自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。</p> <p>●文章と図を結び付けて内容を解釈できるようになること。</p>	<p>○話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめられるような指導の充実。</p> <p>○自分が伝えたいことで表現の工夫ができているかを確認する指導の充実。</p> <p>○文脈を踏まえた上で図表などがもつ役割について考える指導の充実。</p>

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
数 学	<ul style="list-style-type: none"> □「数と式」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。 □「図形」の平均正答率 ・全国平均に比べ、上回っている。 □「関数」の平均正答率 ・全国平均に比べ、ほぼ同程度。 □「データの活用」の平均正答率 ・全国平均に比べ、ほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ◇「関数」の領域において、知識・技能の問題における無解答の割合が全国平均より高くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●等式を目的に応じて変形すること。 ●事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと。 ●事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること。 ●与えられたデータから最頻値を求めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○既習と関連付けながら式の意味と仕組みについての理解を深める指導の充実 ○ICT機器を用いて、視覚的な面から図形の性質の理解を深め、互いに説明する機会の充実 ○グループ活動を通して、問題解決の方法を共有し、学び合う場の充実。 ○表計算ソフトを活用し、データの整理から、傾向を読み取る活動の充実。

※本校の概要の見方

□国語・数学について、それぞれ領域ごとの本校の平均正答率と全国平均との差を用いて比較しています。

+3. 1ポイント以上	→「上回っている」
+3. 0ポイントの範囲内で全国平均以上	→「ほぼ同程度であるがやや上回っている」
全国平均と同じ	→「ほぼ同程度」
-3. 0ポイントの範囲内で全国平均以下	→「ほぼ同程度であるがやや下回っている」
-3. 1ポイント以下	→「下回っている」

生活や学習に関する調査について（生徒質問紙調査における全国平均との比較）

※すべての質問において、全国平均と比較して、本校生徒が肯定的（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）な回答をした割合が、高いものと低いものについてお伝えいたします。

【肯定的な回答の割合が高い項目】

- △毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- △自分にはよいところがあると思いますか
- △将来の夢や目標を持っていますか
- △人が困っている時は、進んで助けていますか。
- △困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- △自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- △友達関係に満足していますか。
- △分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分の学び方を考え、工夫することができていますか。
- △学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- △道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。
- △数学の勉強は大切だと思いますか。

【肯定的な回答の割合が低い項目】

- ▼あなたの家には、およそどのくらいの本がありますか。
- ▼健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。
- ▼地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか。
- ▼1, 2年生のときに受けた授業でICT機器をどの程度使用しましたか。
- ▼1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。
- ▼1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていましたか。

【生徒質問紙調査の結果から】

昨年度の調査では自分を肯定的に捉える「自己肯定感」と、他者の役に立ち、認められる「自己有用感」について、全国平均よりも低い傾向がみられたことで、今年度は「自己肯定感」と「自己有用感」を育む生徒指導や授業づくりを進めてきました。今年度は、その取組みの成果が表れ、全国平均よりも高い傾向がみられるようになりました。今後も、人間関係づくりを基盤として、互いに尊重し合いながら学校生活を送ることで、自己肯定感や自己有用感がいっそう高め、「一人一人を大切にする」「学校に来ることが楽しい」と実感できる学校づくりを進めてまいります。

学習状況の興味・関心に関する質問では、国語科は全国平均よりもやや低く、数学科は高い傾向がみられます。また、理科や英語科についての興味・関心が全国平均よりも高い傾向がみられます。これからも全教科、日常の授業を第一に生徒が「わかる」「できる」「楽しい」授業を目指し、「真の学力向上」に向けて精力的に取り組んでまいります。

家庭学習については、土日については低い傾向にありますが、平日の学習時間は全国平均よりも高い傾向にあります。少しずつ家庭学習の習慣が定着してきていることがわかります。

一方で、家庭におけるPCやスマホでのゲームや動画視聴の時間が全国平均に比べ長い傾向にあり、長時間のスマホやPCの仕様は目や脳に悪影響が出ているとの研究結果も出ていることから、ご家庭におかれましても十分に生徒の心と体の健康に気をつけていただきたいと思います。